

23

セキュリティを強化したい！

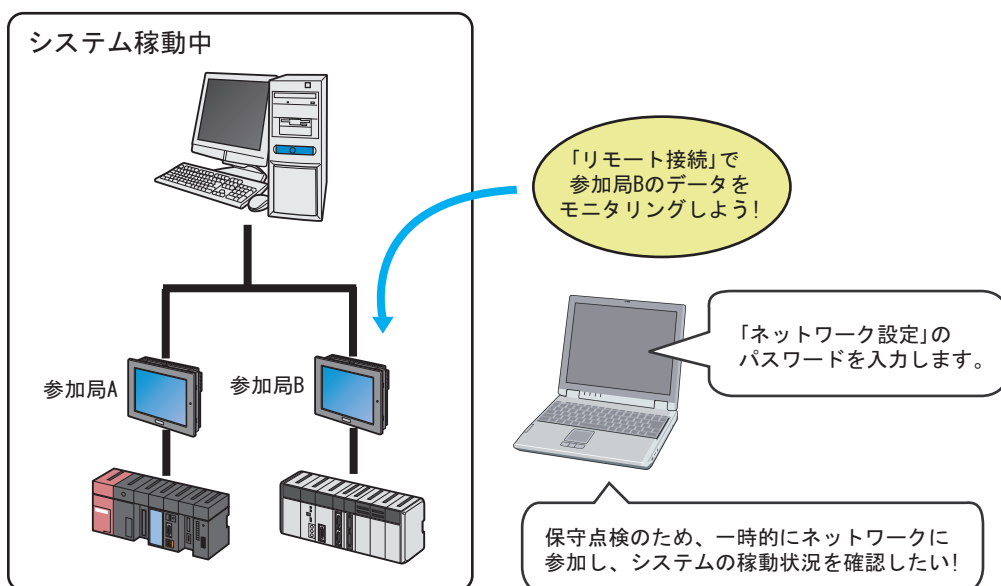
23.1	不正アクセスをパスワードでブロック！	23-2
23.2	不正な編集をパスワードでブロック！	23-7
23.3	不正な転送をパスワードでブロック！	23-15
23.4	制限事項	23-17

23.1 不正アクセスをパスワードでブロック！

ネットワークに参加していない参加局から不正なアクセスを防止するため、ネットワーク全体にパスワードを設定し、セキュリティを強化することができます。

☞ 「34.2 ネットワーク設定」

このセキュリティで保護されているネットワーク内の参加局に対して、ネットワーク外のパソコンからパスワードを入力してアクセスすることを「リモート接続」といいます。



ここでは、リモート接続 / 切断のしかたについて説明します。

MEMO

- 『Pro-Server EX』のセキュリティには以下の3種類があります。

ネットワークに参加していない参加局からのデバイスのアクセス拒否！

☞ 「23.1 不正アクセスをパスワードでブロック！」

ネットワークプロジェクトの保存時のブロック！

保存画面の「保存時にパスワードを入力」から設定します。

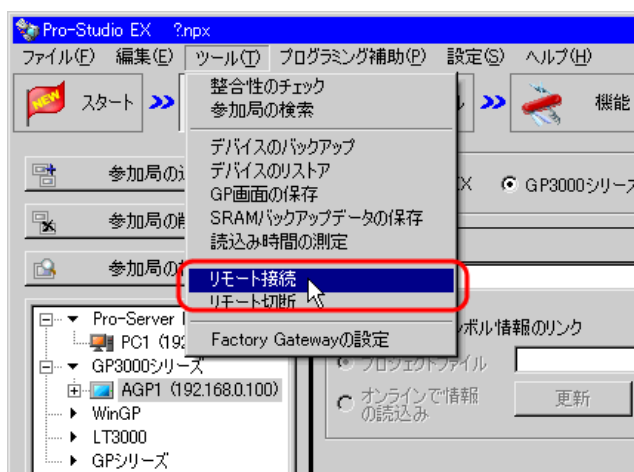
☞ 「23.2 不正な編集をパスワードでブロック！」

ネットワークプロジェクトを表示器に転送するときのブロック！

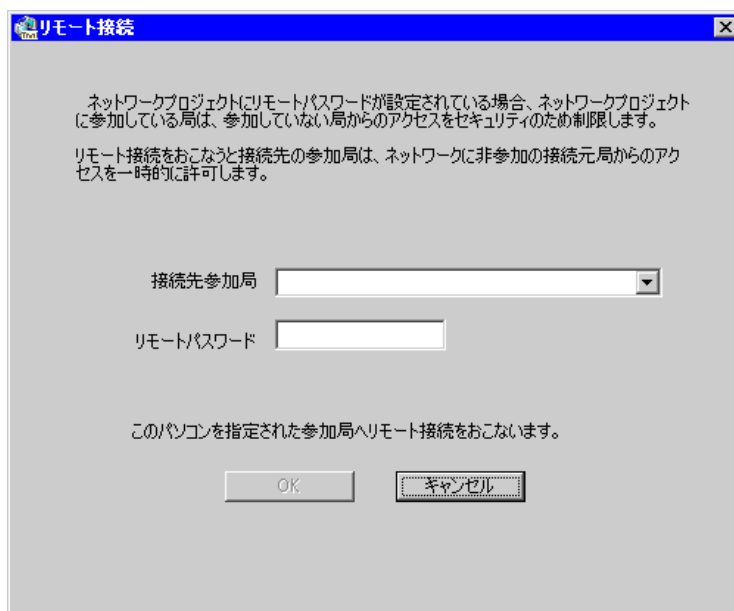
☞ 「23.3 不正な転送をパスワードでブロック！」または『GP-Pro EX リファレンスマニュアル』

23.1.1 リモート接続したい

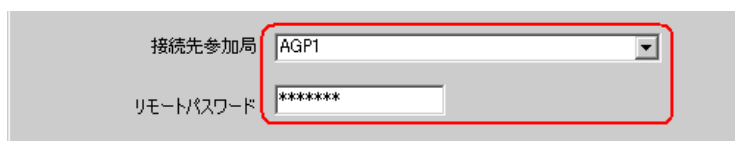
- 1 メニューバーの [ツール] から、[リモート接続] をクリックします。



「リモート接続」画面が表示されます。

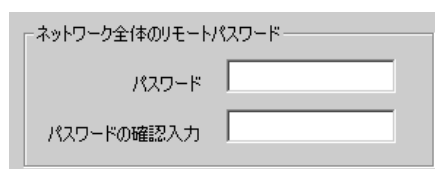


2 [接続先参加局] のリストボタンをクリックし、リモート接続する参加局とパスワードを入力します。

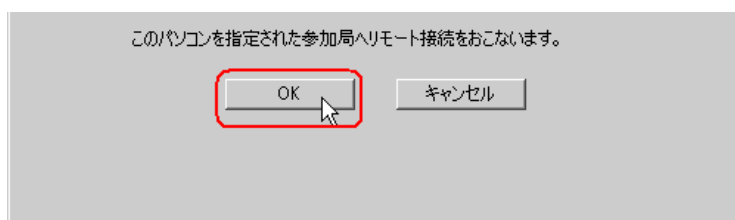


MEMO

- ・ パスワード入力時、画面には「*****」と表示されます。
- ・ 入力するパスワードは、[設定 / ネットワーク設定] で設定したパスワードです。



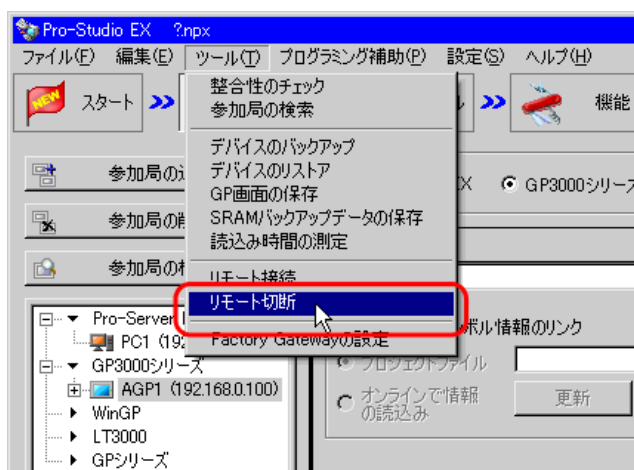
3 [OK] ボタンをクリックします。



指定した参加局にリモート接続されます。

23.1.2 リモート切断したい

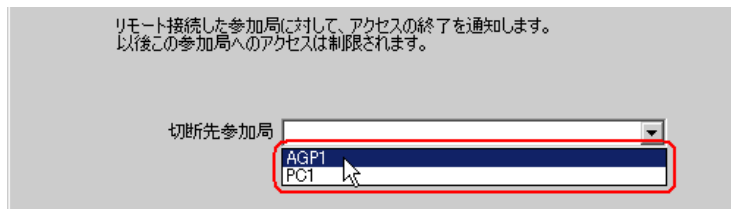
- 1 メニューバーの [ツール] から、[リモート切断] をクリックします。



「リモート切断」画面が表示されます。



- 2 [切断先参加局] のリストボタンをクリックし、リモート接続を切断する参加局を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



指定した参加局へのリモート接続が切断されます。

MEMO

- ・ 1 台のパソコンで Pro-Server EX 局と WinGP 局が稼働している場合、リモート接続を切断すると、指定した参加局に加えて WinGP 局との接続も切断されますのでご注意ください。
-

23.2 不正な編集をパスワードでブロック！

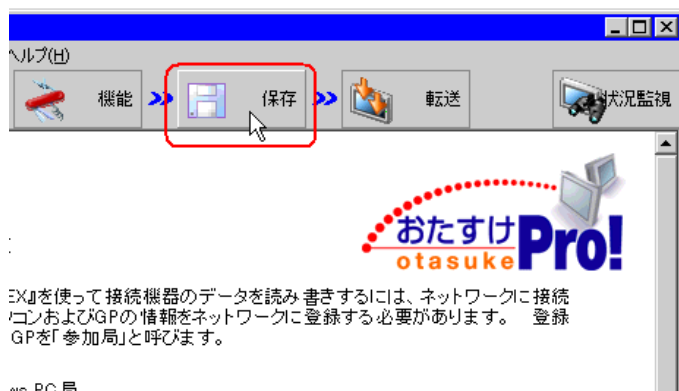
ネットワークプロジェクトファイルの内容を保護するため、作成したネットワークプロジェクトファイルの保存時にパスワードを設定できます。

パスワードを設定しておくと、次回そのネットワークプロジェクトファイルを編集し保存する場合に、パスワード入力画面が表示されるようになります。この場合、パスワードを入力しないとネットワークプロジェクトファイルの保存ができなくなります。

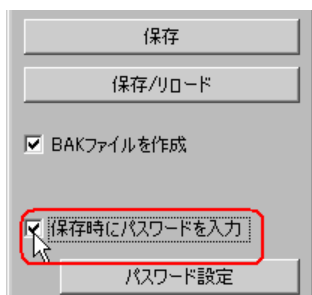
23.2.1 パスワードを設定して保存したい

新規のネットワークプロジェクトファイルの保存時に、パスワードを設定します。

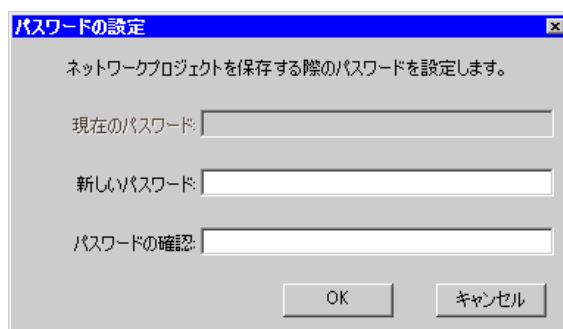
- 1 ネットワークプロジェクトファイルを作成します。
- 2 ツールバーの [保存] アイコンをクリックします。



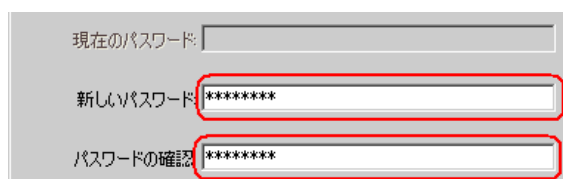
- 3 [保存時にパスワードを入力] をチェックします。



「パスワードの設定」画面が表示されます。



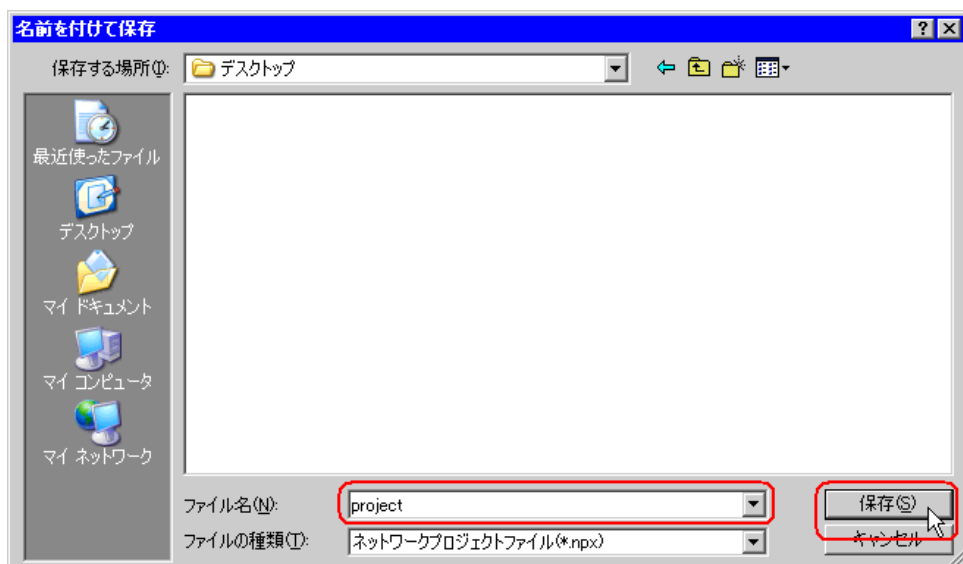
4 [新しいパスワード] と [パスワードの確認] に、設定するパスワードを入力し、[設定] ボタンをクリックします。



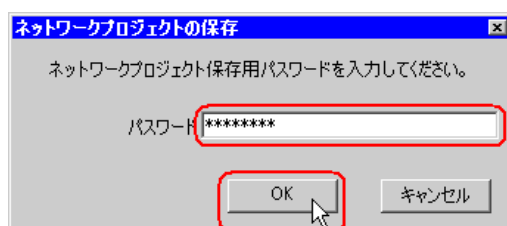
5 [保存] ボタンまたは [保存 / リロード] ボタンをクリックします。



6 ファイル名を入力して、[保存] ボタンをクリックします。



7 設定したパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



パスワードが設定されたネットワークプロジェクトファイルが保存されます。

23.2.2 パスワードが設定されたネットワークプロジェクトを編集 / 保存したい

パスワードが設定されたネットワークプロジェクトファイルを編集し、保存します。

1 ネットワークプロジェクトファイルを編集します。

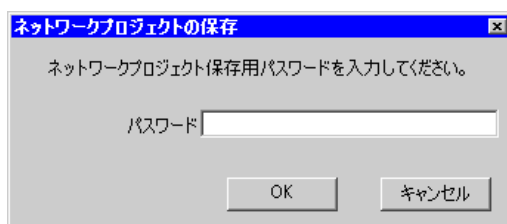
2 状態バーの [保存] アイコンをクリックします。



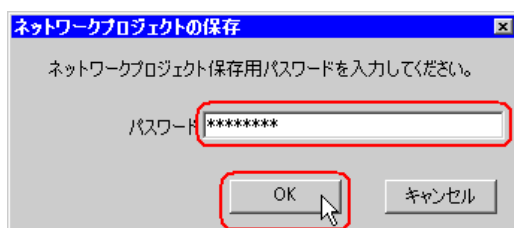
3 [保存] ボタンまたは [保存 / リロード] ボタンをクリックします。



「ネットワークプロジェクトの保存」画面が表示されます。



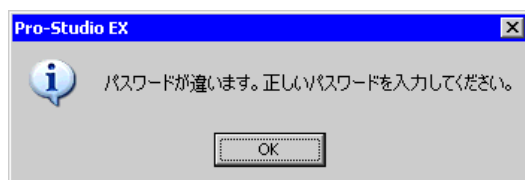
4 設定したパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



編集したネットワークプロジェクトファイルが保存されます。

MEMO

- ・ 入力したパスワードが異なる場合、下記の画面が表示されます。
[OK] ボタンをクリックし、正しいパスワードを入力し直してください。



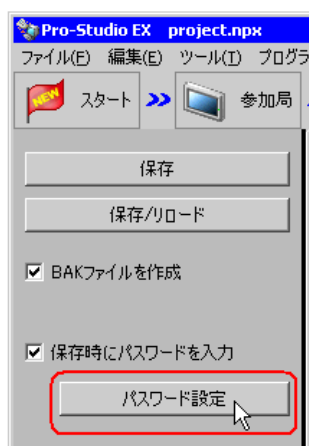
23.2.3 パスワードを変更したい

ネットワークプロジェクトファイルに設定されているパスワードを変更します。

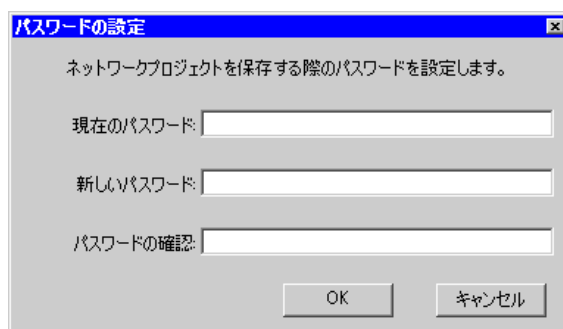
- 1 ネットワークプロジェクトファイルを開き、状態バーの[保存]アイコンをクリックします。



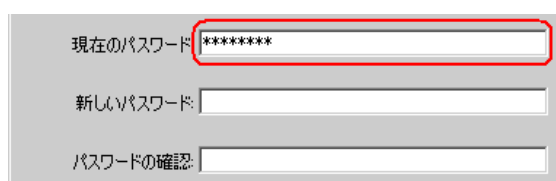
- 2 [パスワード設定] ボタンをクリックします。



「パスワードの設定」画面が表示されます。



3 [現在のパスワード] に、現在設定されているパスワードを入力します。



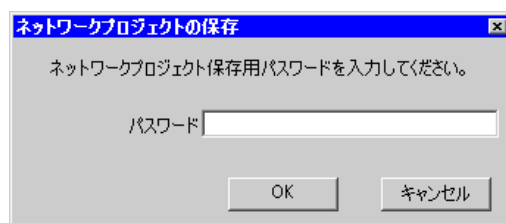
4 [新しいパスワード] と [パスワードの確認] に、変更するパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



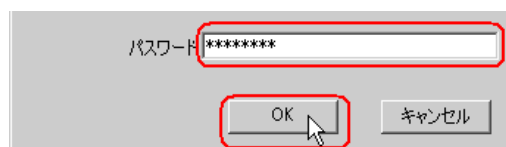
5 [保存] ボタンまたは [保存 / リロード] ボタンをクリックします。



「ネットワークプロジェクトの保存」画面が表示されます。



6 変更したパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



パスワードが変更されたネットワークプロジェクトファイルが保存されます。

23.3 不正な転送をパスワードでブロック！

ネットワークプロジェクトファイルの表示器への転送時、表示器にパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力してアクセスします。

表示器のパスワードの設定のしかたについては、『GP-Pro EX リファレンスマニュアル』をご覧ください。

23.3.1 パスワードが設定されている表示器にアクセスしたい

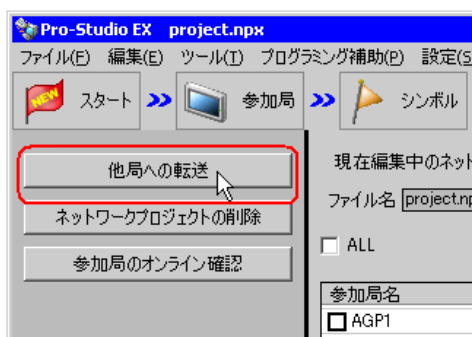
ネットワークプロジェクトファイルの転送時に、パスワードを入力します。

1 ネットワークプロジェクトファイルを作成し、保存します。

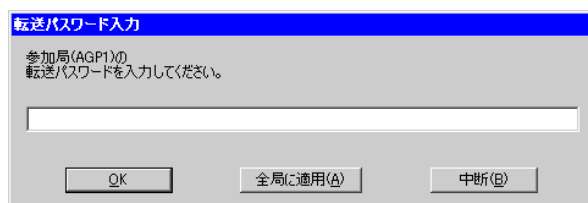
2 状態バーの[転送]アイコンをクリックします。



3 ネットワークプロジェクトファイルを転送する参加局を指定し、[他局への転送] ボタンをクリックします。



4 表示器に設定されているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



ネットワークプロジェクトファイルが、パスワードが設定された表示器へ転送されます。

MEMO

- ここで入力したパスワードを転送する参加局すべてに適用する場合、[全局に適用] ボタンをクリックします。
 - [中断] ボタンをクリックすると、パスワード入力および転送処理が中断します。
-

23.4 制限事項

- リモートパスワード機能と GP-Pro EX の Ether マルチリンク機能を同時に使用する場合、Pro-Server EX のネットワークプロジェクトにマルチリンク機能のスレーブ表示器を参加局として登録しマスター表示器へ転送してください。

参加局として登録されていないスレーブ表示器とマスター表示器との通信はできません。

スレーブ表示器へネットワークプロジェクトを転送する必要はありません。

- リモートパスワード機能を使用している表示器に GP-Viewer EX からアクセスする場合、Pro-Server EX のネットワークプロジェクトに GP-Viewer EX が動作する環境を参加局として登録し、表示器へ転送してください。

動作環境が参加局として登録されていないと GP-Viewer EX と表示器との通信はできません。

なお参加局の種類は [Pro-Server EX] を選択してください。

